

# 鳥海の子

～明るく・かしこく・たくましく～

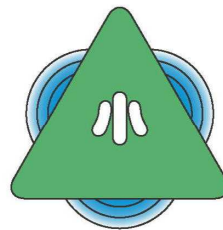
令和6年度 学校報 No.5

文責 校長

コミュニティ・スクールだより

由利本荘市立鳥海小学校

令和6年 4月26日



## 今年も キバナコスモスロードを

4月25日、鳥海スクール・サポーターズ倶楽部7名の皆様に下準備の協力をいただき、小中合同でキバナコスモスの種をまきました。小学校の縦割り班に中学生が加わっての活動でした。パラパラと種をまき、その上からふわっと土をかけました。種まきに先立って、鳥海中学校生徒会長 村\*\*\*さんから「仲間を思う心・家族を思う心・ふるさとを思う心 3つの心の種もまきましょう。」とあいさつがありました。鳥海の子どもたちの心の成長が期待されます。

鳥海スクール・サポーターズ倶楽部のみなさまのご協力にも感謝申し上げます。

ありがとうございます！！

## 雑巾50枚 いただきました

4月25日に、川内婦人会のみなさんから雑巾50枚（川内婦人会のみなさんの手作り雑巾）をいただきました。地域のために、学校のためにという思い、優しい働き掛けがありがたいです。今後の美化活動に使わせていただきます。

「よりよいおそうじ」を通して、自分の役割をがんばる力、仲間と一緒にがんばる力、もっときれいにすることを気付く力を磨きましょうと、呼びかけています。まじめに掃除している子どもたちですが、時間内に掃除が終わったところで満足しがちで、「きれいになっているかな」の確認や「もっときれいにすること」への気付きはこれからのがんばりどころです。

3年生教室で、掃除を終えた子が、敷居を拭き、終わると戸を移動させてもう片方を拭いていました。その様子に気付いたのか4年生も同じように敷居の拭き掃除を始めました。どちらの姿も立派だと思いました。



## セルフ配膳に挑戦



これまで給食の配膳は、当番が各自の席に配っていましたが、効率的で、子どもが自分のことを自分で出来る方法でもあることから、セルフ方式の配膳も取り入れました。

試したところ、子どもたちの経験値を高める場になっています。トレイ上のお茶碗やお皿、牛乳の置き方への心遣い、当番から配膳者に渡す心遣い、準備中はおしゃべりしない約束の徹底などです。少しずつ、セルフ方式に馴染み、「いただきます」と食事に入る時間が早まってきました。

# 鳥海小学校を教えてあげるね

～～ 1年生・2年生の学校探検～～

前日に校舎の教室入口あちらこちらに2年生が書いた紹介カードが張り出されました。カードは、その場所の名前、文章、イラストで説明されていました。4月25日の2時間目、2年生と1年生のペアが学校探検をしました。一年前は自分たちが説明してもらっていた2年生が、熱心に案内したり、1年生のペースに合わせてたりとお兄さん、お姉さんぶりを発揮しました。おかげで1年生も興味津々に学校内を見たり聞いたりすることができました。



# 全校のみんながお友だち

～～ 1年生こんにちは集会～～



4月25日の3校時には、1年生こんにちは集会を行い、6年生の企画によって1年生と上級生の交流が深まりました。1年生が行う自己紹介「すきなもの」は、「シュークリーム」「ぶどう」「おにごっこ」「犬」「スマフォ」など12名それぞれが異なる物だったことに感心しました。

交流ゲームは「ハンカチ落とし」。昨年度「はないちもんめ」だったことも意外でしたが、今年度も昭和時代の懐かしい遊びでした。8班それぞれ盛り上がり、ハンカチ落としが進むにつれて円がギュッと詰まっていき、子どもたちの仲良し度が表れているようでした。

「1年生と仲よくできてよかった」「昼休みや長休みも一緒に遊びたい」などの各学年の感想を受けて、6年生代表の小\*\*\*さんが「優しいお兄さん、お姉さんがいます。これからも安心して鳥海小学校でがんばりましょう」と呼びかけてくれました。

よろしくお祈いします  
～新任職員～

生活サポート  
伊 \* \* \*



毎朝、鳥海山から近づいてくる景色。かつてとは変化がありつつも懐かしい風景です。桜が終わり、これからは美しい緑の季節を迎えますね。とても楽しみです。

鳥海町へは2度目の勤務であり、ご縁を感じています。子ども達の人なつこい瞳と明るい声に私もわくわくしながら日々を過ごしていきたいと思ひます。よろしくお祈いします。

## 鳥海支部スポーツ少年団入団式

4月24日、紫水館で由利本荘市スポーツ少年団長会支部による令和6年度の入団式が行われました。鳥海野球スポーツ少年団は18名、鳥海卓球スポーツ少年団は10名が、今年度の活動に思いを込めて氏名点呼に返事をし、齊\*\*\*さん、小\*\*\*さんが代表で団員章を受け取りました。鳥海支部長の佐\*\*\*様からお話をうかがったあと、野球スポーツ少年団 佐\*\*\*さんが「チームの役に立つために自分を上達させたいこと、考えて練習していくこと」、卓球スポーツ少年団 村\*\*\*さんが「キャプテンとして大きな声を出すことでみんなをまとめたいこと、点差によらず最後まであきらめないこと」を抱負として発表しました。

スポ少部員をはじめ、日々の努力の積み重ねが、一人一人の自信に結び付くよう応援したいです。

